

吉備地方最古の前方後円墳の可能性をもつ古墳

浦間茶臼山古墳



指定区分	国指定史跡
読みかた	うらまちやうすやまこふん
所在地	岡山市東区浦間・浅川
指定年月日	昭和49年11月25日
解説	岡山市と瀬戸内市長船町の境界となる吉井川西方約1kmの丘陵上に位置する前方後円墳。吉備地域南部の代表的な前期古墳である。全長は約125m。後円部頂部に、主軸に対し直角方向にあった竪穴式石室の痕跡を残しており、割竹形木棺が納められている。発掘調査により、鉄器、銅鏡、勾玉など多数の遺物が出土した。
アクセス方法	宇野バス「浅川」から約1km
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	浦間茶臼山古墳
よみかた	うらまちやうすやまこふん
しょざいち (所在地)	岡山市東区浦間・浅川
していたひ (指定した日)	昭和49年11月25日
せつめい	この古墳(こふん)は吉備(きび)の国のなかでも、最(もつと)も古い大形の前方後円墳(ぜんぼうこうえんふん)です。巨大な勢力(せいりょく)を誇(ほこ)った古代吉備の古墳時代の始まりを告(つ)げる古墳であるとされています。